

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社

MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ事務局 御中

公益財団法人日本手芸普及協会 御中

アフガニスタン・イスラム共和国

2019 年度子どもたちへの手編みセーター等配布事業

完了報告書



2020 年 4 月 28 日

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー3F

TEL: 03-5334-5350 FAX: 03-5334-5359

URL: <http://www.worldvision.jp>

御礼

貴社・貴会によりご支援をいただきました、アフガニスタン・イスラム共和国における「子どもたちへの手編みセーター等配布事業」が完了しましたので、ここに感謝とともにご報告いたします。

今年もアフガニスタン西部ヘラート市の路上で生活している子どもたちへ全国のご支援者の皆さまからのセーターなどウール衣料を届けることができました。皆さまの温かい想いが詰まったプレゼントを手にしたとき、子どもたちは、「自分のことを想ってくれる人がいる。どこかに贈り物をしてくれる人がいる。」と心からの喜びで笑顔がはちきれそうでした。

皆さまのご支援は、厳しい寒さと経済状況を生き抜くアフガニスタンの子どもたちに、あたたかさ、希望、そして生きる力をもたらしています。貴社・貴会のご関係者の皆さまと、子どもたちの喜びと希望を共に分かち合っていたできれば幸いです。

このご支援に心から感謝し、これからも、世界で貧困や困難の中にある子ども達や人々への温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人
ワールド・ビジョン・ジャパン

I. 支援事業概要

主たる支援セクター	子どもの保護
支援事業名	アフガニスタン・イスラム共和国 子どもたちへの手編みセーター等配布事業
支援事業地	アフガニスタン・イスラム共和国ヘラート州・ヘラート市 ワールド・ビジョン・アフガニスタン ストリート・チルドレン・センター 英語表記: Herat city, Herat Province, Islamic Republic of Afghanistan
事業実施期間	2019 年 10 月 19 日 ～ 2019 年 12 月 19 日 (2 ヶ月間)
事業費総額	4,046,844 円 啓発教育費および地域開発援助事業管理費等 26.25%を含みます
事業の最終目標	本事業は、ストリート・チルドレン・センターを利用する子どもたちが体調を崩すことなく冬を越せるように、適切な防寒着（セーター、マフラー、帽子など）を提供することを目的としています。同時に家族や社会から十分な保護に恵まれず、厳しい環境で生きる子どもたちが、手編みのセーターを贈られることによって「あなたたちを忘れていません。あなたたちは大切な存在です。」というメッセージを受け取り、自信や尊厳を持つことができることを目指しています。
結果・項目	ストリート・チルドレン・センターを利用する子どもたちに適切な防寒具を提供します。
活動内容	物資支援として提供された手編みのセーターなどのウール衣料を、ストリート・チルドレン・センターを利用する子どもたちの一部に配布します。
連絡先	平田優子 （マーケティング第1部 法人・特別ドナー課） TEL : 03-5334-5355 yuko_hirata@worldvision.or.jp

II. 事業地の地理的・社会的背景

アフガニスタン北西部に位置するヘラート州は首都カブールより西方 600km の距離に位置し、冬の寒さが厳しいところで、気温がマイナス 10℃を下回ることもあります。さらに、2017 年後半から続く深刻な干ばつ、ひるがえって 2019 年 3 月には一部地域で鉄砲水が発生し、唯一ともいべき産業である農作物が深刻な被害をもたらしました。収穫が得られない、収入源である家畜が死亡するなど、ヘラートの人々の生活は厳しい状態へと追い込まれています。

こうした食糧不足や生活困窮が続く、子どもたちの発育にも影響が出ています。2019 年にヘラートの一部地域で実施された栄養調査では、5 歳未満児の 24%の子どもたちが「中度急性栄養不良」状態にあることがわかりました。

貧困、異常気象、食糧不足など、多くの困難に直面する子どもたちにとって、厳しい冬はさらに過酷な状況を招きます。しかし、厳しい経済状況の中、子どもたちが路上でビニール袋売り、プラスチックのボトルや金属の破片を拾って売るなどして生計を立てて家族を支えなければならない状況にあります。このため、ヘラートの多くの家庭では防寒着を子どもたちに買い与える経済的余裕がありません。このように、多くの子どもたちが暖かい衣類や家がないために、厳しい寒さが原因で病気にかかり、不幸にも命を落としてしまうこともあります。

～ワールド・ビジョンのストリート・チルドレン・センター～

ワールド・ビジョンは 2011 年にストリート・チルドレン・センターを設立し、路上で暮らす子どもたちに対して最低限の医療サービスの提供や、カウンセリング、学習支援やレクリエーション活動など医療・栄養・教育・心理的サ

ポートの面で支援を提供しています。また、保護者に対しても、子どもが教育を受けることの重要性について啓発を行い、保護者が雇用機会を得て世帯の貧困状態を改善できるよう就労支援も行っています。同センターは子どもたちや保護者が立ち寄りやすいようにヘラート市の中心に位置し、現在は約 5,000 人の子どもたちが通っています。

III. 実施の目標

ストリート・チルドレン・センターの子どもたちへの適切な防寒具の提供

ストリート・チルドレン・センターの子どもたちへの適切な防寒具セーター、マフラー、帽子など）の配布を行いました。

(1) 活動内容

ワールド・ビジョンを通してヘラート州ヘラート市のストリート・チルドレンを利用する子どもたちとそのきょうだいを対象に「世界の子どもたちへ編み物作品を贈ろうプロジェクト」ご参加者の皆さまより寄贈いただきました手編みのセーターなどを届けました。

配布対象者の選定にあたっては、各利用者の家庭の状況を熟知するストリート・チルドレン・センターの指導員やワールド・ビジョン・アフガニスタンのスタッフを中心に協議し、世帯の貧困度合いやぜい弱度によって決定しました。

2019 年は 2016 年以来 4 回目のアフガニスタンへ向けた発送となりました。10 月 19 日、埼玉県新座市内での箱詰め作業の後、21 日に物品発送を行い、10 月 25 日に成田空港から空路にてアフガニスタンのカブール国際空港へ輸送、10 月 27 日にカブール空港到着後に税関手続きを経て 11 月 21 日にワールド・ビジョン・アフガニスタンのスタッフが物品を受領しました。不安定な治安情勢のため、カブールからヘラートへの配送においてはワールド・ビジョンのスタッフが治安状況を慎重に検討した上で、陸路での輸送を決定しました。カブールからトラックで発送し、11 月 29 日にヘラート到着、同日にヘラート市のストリート・チルドレン・センターまで、紛失や盗難被害もなく良好な状態で、ご支援いただいた物品を搬送することができました。

ご寄贈品はサイズごとにセーター、マフラー、帽子などのセットで袋詰めを行いました。ストリート・チルドレン・センターが手狭であるため、贈呈は 12 月 15 日から 19 日の 5 日間に分けて行い、初回の 12 月 15 日にはヘラートのストリート・チルドレン・センターで、贈呈式を執り行いました。式典では、アフガニスタンの行政関係者、ストリート・チルドレン・センターのスタッフやワールド・ビジョン・アフガニスタンのスタッフが子どもたちにセーターやマフラーを直接手渡しました。7 歳以下の子どもたちへの寄贈については、母親にセーター、マフラー、帽子などのセットを贈りました。

(2) 配布物品内訳

物品	数量
セーター	1,421 着
ベスト	9 着
マフラー	1,654 個
帽子	2,083 個
カーディガン	1 着
ポンチョ	2 着

手袋	6 組
靴下	1 足
ジャケット	1 着
合計	5,178 点

(3) 受益者内訳(性年齢別)

年齢	男子	女子	合計
5-9 歳	313 名	283 名	596 名
10-13 歳	450 名	307 名	757 名
14-18 歳	429 名	301 名	730 名
合計	1,192 名	891 名	2,083 名

(4) 配布物品内訳(受益者年齢別)

年齢	セーター	ベスト	マフラー	帽子	カーディガン	ポンチョ	手袋	靴下	ジャケット	合計
5-9 歳	596 点	9 点	596 点	596 点	0 点	0 点	6 点	1 点	0 点	1,804 点
10-13 歳	757 点	0 点	757 点	757 点	1 点	2 点	0 点	0 点	1 点	2,275 点
14-18 歳	68 点	0 点	301 点	730 点	0 点	0 点	0 点	0 点	0 点	1,099 点
合計	1,421 点	9 点	1,654 点	2,083 点	1 点	2 点	6 点	1 点	1 点	5,178 点

IV. 支援事業による効果

- 受益者の子どもたちの多くは屋外で働いているため、配布された防寒着によって、寒さによる病気から守られます。
- 受益者の子どもたちは温かい手編みの衣料があるため、通学や勉学を続けることができます。
- 普段から十分な保護を受けることができていない受益者の子どもたちが、手編みの贈り物を受け取ることで「自分は大切な存在である」というメッセージを感じることができます。
- 質の良い手編みの衣料のため耐久性が高く、長きにわたり使うことができ、貧しい家庭の家計を支えています。

V. 事業地の状況と受益者たちからの声

カイス君(12 歳)

「本当？本当に僕がもらってもいいの？あとで取り上げたりしない？」あたたかくて新品のセーターをもらったカイス君は驚きを隠せません。カイス君は、ワールド・ビジョンがアフガニスタンで運営するストリート・チルドレン・センターで支援をうける子どもの一人です。センターでは心理的ケアのほか、教育や保健面での支援を受けてきました。いつもは青果市場で、やってきたお客さんにプラスチックの袋を売る仕事をしています。毎日の稼ぎはお母さんに渡して、食べるものや生活用品を買ってもらいます。市場が閉まっている金曜日だけは、友達と遊ぶことができます。

「自分のために冬用のシャツを買おうとして、頑張ってお金を貯めていたんだ。冬になるとやっぱりあったかい服が欲しくなるよ。」

遠い日本からはるばる運ばれてきたセーターが、本当にカイス君のために送られたことをワールド・ビジョンのスタッフに教えられて安心すると、この 1 年間貯めてきたお金はお母さんの新しい服を買うために使うことにしました。

「仕事が終わることには日も暮れて、本当に寒くなるんだ。うちは暖炉がなくて冷えるから、このセーターはとてもうれしいです。」



ソマヤちゃん(11 歳)

ソマヤちゃんは、ピスタチオの殻を割り、サフランの花を洗浄する仕事をしています。家族の経済状況を厳しく、11 歳のソマヤちゃんにとってもつらい毎日です。お父さんは病気で仕事ができないので、お母さんと一緒に家計を助けています。少ない収入は食料や生活に必要なものを買うのにやっとで、防寒具を買う余裕はありません。「去年、古着屋さんで服を買ってもらったんだけど、サイズが小さくなっちゃって。お母さんに新しい服が欲しいってお願いしたいけど、お金がないからダメよ、って叱られると思って言い出せないの。でも今日、新しくあったかい服をもらったから、とてもうれしい。セーターと、帽子と、マフラーももらったの！」

セーターにつけられたラベルを見て、「これはなんだろう？」

ワールド・ビジョンのスタッフから、アフガニスタンの子どもたちのことを思ってセーターを編んでくださった日本の心優しい方のお名前が書かれていることを教えられて、嬉しそうにこう返します。

「私も日本の人たちのことが大好きよ、だって私と友だちにこんなに素敵なプレゼントを贈ってくれるんだもの。いつか私も、困っている子どもにあったかい洋服をプレゼントしたい。きっと喜んでくれるから。」



ヤーハ君（10歳）

ヤーハ君も働いて家計を助けています。街に落ちているプラスチックのボトルや、金属の破片や紙を拾って業者に買ってもらいます。一日の稼ぎは2米ドル（約230円）くらいです。家に帰るとお父さんに稼ぎをすべて渡しています。お父さんは歳をとって、働けないのです。

「お父さんは毎年一回、ラマダン明けのイードのお祭りのときには新しい服を買ってくれるんだ。イードが冬だったらいんだけど、暑い時期なんだよね。だからセーターとかは買ってもらえないの。近所のお兄さんが、自分には小さくなった防寒具をこないだくれたけど、もう小さくなっちゃった。あったかい服がないと仕事をするのはとても辛いよ。」

あたらしいセーターをもらったヤーハ君の笑顔は、はちきれそうです。

「あたらしいセーターが欲しい、欲しいって思っていたんだ。願いがかなったよ！かなえてくださった「日本の優しい方々、本当にありがとう！いつか直接会ってお礼を伝えたいです。」



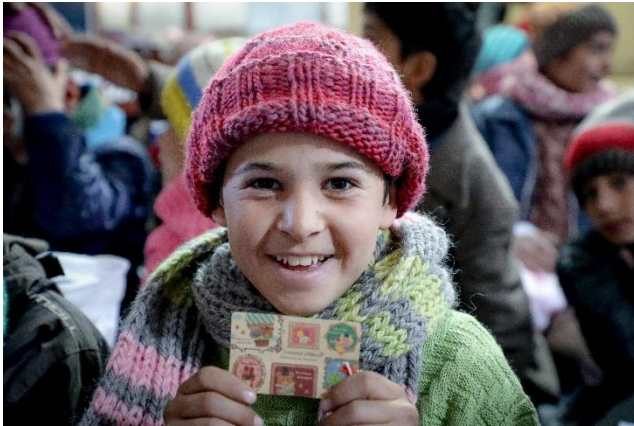
～ワールド・ビジョン・アフガニスタンのスタッフ～

配布を担当したスタッフのアハマドさんはこのように話してくれました。

「毎年、心のこもった防寒具を贈ってくださり本当にありがとうございます。」

子どもには成長に合ったサイズの服を着せてあげたいと思うのが親心ですが、ここアフガニスタンでは貧困のために、こういったことさえできない家庭が多いのが実情です。

子どもたちが贈り物を受け取る姿を見るとき、この子どもたちの祈りが届いていることを身に染みて感じます。『自分のことを思ってくれる人がいる。どこかに贈り物をしてくれる人がいる。』子ども一人一人が心の中でこう叫んでいる瞬間です。」



VI. 事業完了後の持続性

ご寄贈品は良質かつ耐久性が高いため、子どもたちが今年の冬だけでなく、長きにわたり使うことができ、受益者の子どもたちの貧しい世帯の家計を支えるという点で持続性があるといえます。

VII. 実施工程

活動内容	2019 年 10 月	2019 年 11 月	2019 年 12 月	2020 年 1 月	2020 年 2 月	2020 年 3 月	2020 年 4 月
物品梱包・受領日							
発送・通関手続き							
アフガニスタン国内輸送							
配布							
速報報告							
会計含む完了報告							

VIII. 会計報告

収支計算書	
内容	実績(円)
ご支援金額(物品寄付)	¥2,040,400
ご支援金額(募金)	¥2,006,444
MS&ADゆにぞんスマイルクラブ様・日本手芸普及協会の皆さまより	¥1,744,942
一般募金者より	¥261,502
収入額合計	¥4,046,844
寄付物品価格（セーター、マフラーなど）	¥2,040,400
輸送費	¥1,443,786
現地配布にかかる費用	¥30,950
現地事業費合計	¥3,515,136
啓発教育費及び地域開発援助事業管理費等	¥531,708
支出額合計	¥4,046,844
差額	¥0

【添付資料】

(1) 支援地地図

アフガニスタン



ヘラート州拡大図

